

浄国寺通信

第 22 号
平成28年6月10日
発行
熊本市北区高平
2-20-35
曹洞宗 浄国寺
編集者
中山 義昭

平成二十八年熊本地震

壇信徒の皆様方も、それぞれ甚大な被害を被らされている事と拝察申し上げます。心よりお見舞い申し上げます。

お寺の被害状況

本堂外観
現在ブルーシートが掛かっていますが、棟瓦がかなり崩落しています。鬼瓦も破損して、棟瓦の総替えと形状変更はしなければならぬようです。



本堂内部

幸いな事に、ご本尊釈迦如来と活人形・谷汲観音像は、倒れたり、飛び

出したりする事無く、無事でした。本尊様は、背が少しずれただけ、観音様は、厨子自体が右に約三十センチ程移動はしていましたが、被害が大きかったのは壁で、漆喰がかなり剥落しています。内陣が痛みが大きく、柱と梁の間、須弥壇と柱の間に数センチの隙間が出ています。本堂は左右の壁の漆喰の塗り替え、内陣は、一度壁を剥がして、柱や梁の調整を行つた上で、壁板を入れ、漆喰を塗る作業が必要となります。これは、少し大規模な工事になりそうなので、施餓鬼の法要を終えた後で具体的な作業に入りたいと思っています。天蓋の瓔珞が落ちたり、仏具が落ちて破損したり、棚が倒れたりと言った場所は、沢山ありますが、これは、地震の被害を受け

た檀家の方々のお宅と同じです(少々面積が大きいですが)
納骨堂の被害状況
本堂、庫裏の建物被害は、瓦の工事に費用が高みですが、修復の目処は立ちました。被害自体がひどかったのは、納骨堂の納骨壇と墓地でした。納骨壇は、お骨を納めている石造り風の骨櫃の上の仏壇部分が、大きくずれて、祀つてあつたお位牌や供物は全て下に落ちて破損しました。仏壇部分が、骨櫃から床に落ちてしまつた所もありました。又、骨櫃の扉が外れて開いたり、中の仕切り板と棚板が破損して、お骨を収めた壺同士がぶつかつたりして、壺が破損してお骨が外に出てしまつたケースもありました。さらに新たに壺を求め、分ける範囲で壺に収めましたが、一つの区画の中の複数の壺の場合、混じつ



てしまつた場所もありました。位牌のガラスも割れて危険な事もあつて、長く立入禁止にしておりました。現在、以前作つていた納骨壇の骨櫃の仕切り板と棚板は、全て作り直して新しいものと交換いたしました。その作業を終えた時点で、お骨を壇に納め、お位牌も元の位置に戻しましたが、お位牌のガラスは割れてしまつているので、現在注文中です(破損を考え、樹脂製を注文しています)。樹脂製を注文しています。供物やお鈴などは、個人所有で所有者が分からないので机上に並べておられます。参詣にいられた方で分かる場合は、各自、自分の壇にお戻し下さい。



浄国寺墓地の状況

テレビ等で放映されたように墓地は、どこも石塔の転倒破損は、ひどい状況です。当寺の墓地も前の震までは、石灯籠くらい

だったのですが、本震後は、かなり倒れています。お墓は、それぞれの家庭が管轄するものですが、実際は、難しいと考へたので、出入りの石材業者に一括して修復をお願いしています。石屋さんも多忙でなかなか着手できないようです。見積もり等が出たら、個別に連絡します。

現在の状況

納骨堂は、長く立入禁止にしていましたが、棚板等の交換も全て終わり、どうにかお詣りができるようになりました。お鈴やお供物や造花は不明なので、一力所にまとめていきます。各自でお戻しく下さい。墓地は、どこのお寺も墓地倒壊が激しく、石屋さんも忙しいらしく、着工時期は、まだ確定できません。申し訳ありませんが、今しばらく、お待ち下さい。本堂は、壁の剥落は、ありますが、法務に支障はありませんので、現在も法事は行つていきます。経験した事の無い地震で、どこも大変だと思えます。不自由をかけますが、現状は、このような状況です。

地震に関する修復費用につ

い、本堂等の修復に関しては、どこのお宅も、それぞれに復興費用が高む時期だと思



墓地に關しては、各家で修復方法や個別の見積もりを考慮して、別途請求をす

施餓鬼法要(檀信徒分盆供養) 例年通り開催致します

浄国寺夏季施餓鬼法要

日時 平成二十八年七月三日(日)

午前十一時より

浄国寺檀信徒お盆先祖供養

法話 宮崎県観音寺

副住職 久我康陽 師

簡単な弁当を用意しております。出欠及び人数を同封の葉書で返信下さい。

熊本市内の曹洞宗寺院の中には、本堂が倒壊する危険があると言つ事で、解体撤去した所もあります。本堂に赤紙が貼られた所、庫裏が全壊した所、その他、法要を開催する事が出来ない寺院もあります。当山は、漆喰の剥落や、柱と壁の隙間はありますが、修理を依頼した大工さんから、法要の開催は大丈夫だと言われ

という時だからこそ、自分の足許を見つめ、いつもの日常を過ごせる現実に感謝するといふ行為も大切なのではないでしょうか？我々が今ここに、こうして生きて

その一つの機会にした

「Bass Talk」の皆さんが来てくれます。平成28年10月29日(土) 講演会 午後5時 演奏会 午後7時 (音楽会 協力金三千円)

く方は是非、ご参画下さい

「ま心にZEN」開催

今年も開催致します。今回は、前にも一度お願いしたカトリックのフランコ神父様と「人知を越えた存在」について、それぞれの宗教の立場からディスカッションを行います。音楽会も、評判の良かった鈴木良雄と

定例木曜坐禅会

毎週木曜日 午後八時より

一炷(約四十分)坐禅をして坐禅に関する書本の解説(約二十分)会費(会前一切なし)初めての方は、連絡下さい

娑婆は娑婆

熊本は地震復興で大変だが国の動きを見ると、おかしな方向に進んでいるようだ。この国のエスタブリッシュメント層(国の指導的階層の人々)の道義的責任感の劣化は目を覆いたくなる。彼らにとっては社会格差は痛みではない。寧ろ安く使い捨てできるマンパワーの確保に繋がる事さえある。株式会社経営なら、まず利益を増やす事が重要だが、国の政策は永続性と安定性が大事なはずだ。赤字国債は国の赤字ではなく政府が作った赤字であり借金である。飯が食えねは始まらないが、日本人の職業意識は、金より誇りであり、充実感や使命感であった筈だ。今回、修復の為に大工さんと瓦屋さんを話しているところとすると、多い。しかし一方で、悪質業者の横行もある。子どもは大人のマネをする。見本になる善の偉い方「脚下照顧」ですよ。